

ニュージーランド

ホームステイ&ボランティアプログラム

白く長い雲のたなびく地・・・アオテアロアと呼ばれていました
「羊の国」として知られるニュージーランドでのボランティア



■ニュージーランドは南半球に位置し、日本と季節が逆の国。近頃では、「ラストサムライ」「ロード・オブ・ザ・リング」「ナルニア国物語」など映画の撮影にもよく使われていたので、雄大なニュージーランドの自然を目にする機会も増えたのでは。先住民のマオリ族が呼んだアオテアロアは、「白く長い雲のたなびく地」という意味のきれいな島でした。ジェームズ・クックがエンデバーで1769-1770年に訪れた時に、英語で "New Zealand" と名づけました。総人口は、約427万人。人口密度は1km²当たり約16人（日本は343人）と、土地に対して人口が少なく、この国にいると大地の広がりを感じます。赤道を挟んで日本とほぼ同じ緯度であり、その気候や自然環境がよく似ているので、日本人にはとても馴染みやすい国のひとつです。

■北島の都市オークランド

オークランドは人口130万人（国内の3分の1）、のニュージーランド最大の都市です。CITY中心部は高層ビルが立ち並んでおりますが、ひとたびCITYを出るときれいな海、たくさんの木々たちであふれ、自然豊かな大変住みやすい環境です。また、オークランドは人種の坩堝であり、アジアをはじめ世界各国からの移民が多く生活しており、街中には様々な国の料理や看板が溢れて活気に満ちています。

■ホームステイしながらボランティア活動

CECのプログラムは海外体験からいろんなことを学んでいただくプログラムです。そして、その海外体験として、ボランティア活動を提案しています。このニュージーランドでも同じように活動先を開拓し、参加者の方が深い体験をしていただけるよう力を入れています。

プログラムの参加募集要項 2016年

幼稚園ボランティア・高齢者施設ボランティア・特別支援学校ボランティア

- 2週間 188,000円（現地ホームステイ 14泊）
- 3週間 220,000円（現地ホームステイ 21泊）
- 4週間 238,000円（現地ホームステイ 28泊）

語学研修付きのボランティア（南島のクライストチャーチで手配します）

- 2週間 280,000円（現地ホームステイ 14泊 英語研合計 15時間）
- 3週間 302,000円（現地ホームステイ 21泊 英語研修合計 15時間）
- 4週間 365,000円（現地ホームステイ 28泊 英語研合計 30時間）

※2週間の場合にはホームステイは2週間、最初の1週間目に語学学校で勉強します。

※3週間の場合にはホームステイは3週間、最初の1週間目に語学学校で勉強します。

※4週間の場合にはホームステイは4週間で、最初の2週間語学学校で勉強します。

★この資料の作成時点では、2016年の語学学校費用が確定していませんので、2015年と同じ数字にしています。実際に参加希望時に合わせ、学校に見積依頼をいたします。

■ 参加費用に含まれる項目

- 空港からホストファミリーまでの片道送迎（帰国時の送迎は含まれません。）
- ホームステイ滞在費用（平日2食、週末は3食）

昼食はプログラム費用には含まれていません。

週末には、ファミリー宅に居たら昼食も提供されます。

- 滞在期間中の現地でのケア（現地サポートセンター）

現地サポートセンターの日本人スタッフによるサポート。現地でのアドバイス、困ったことがあったときの解決の手伝いはおまかせください。期間中はこのサポートセンターでの情報集めや旅行のアドバイスなどを受けることができます。

■ 参加費用に含まれないもの

- 昼食
- 現地交通費 ホームステイからボランティア活動先までの交通費
- オークランドまでの往復航空券と各種税、燃油サーチャージ等

ニュージーランドまでの航空券は休み時期は取りにくいです。特に春休み（2-3月）は現地の夏になるために気候が良いのでニュージーランドに旅行に行かれるかたが多いので、この時期に参加ご希望の方は、できるだけはやく（2ヶ月前）申込をお願いいたします。直前になると、高い料金の航空券しかとれなくなります。

滞在中のボランティア活動の種類

幼稚園、保育園での活動内容

日中はボランティア先の幼稚園/保育園に行っていただきます。ボランティアの主な内容は保育士のサポート、幼児の世話など。子供が大好きな方はぜひご参加を！

特別支援校での活動

受け入れ先は特別支援学校。ボランティアの主な内容は介護と利用者の学生のサポートになります。介護関連の資格などをお持ちの方には海外での経験は貴重な財産になりますし、人と触れ合うことが好きな方にオススメのボランティアプログラムです

高齢者施設での活動

高齢者施設でのボランティア活動。主な内容は介護補助、入居者の方の生活支援など。介護の資格をお持ちの方、介護の仕事に興味のある方などに人気で多くの方にご参加をいただいております！



プログラムの流れ

1) 参加申込を決定されたらオンラインによる申込

お申し込みフォーム(CECの総合サイトに移動) から必要事項を記入の上、送信ください。申込金20,000円は申込書フォームを送信していただいた後、営業日(土日祝日は除く)3日以内にCECの銀行口座にお振込みください。申込金と申込書が両方そろった時点で申込完了とさせていただきます。

申込の際には必ずプログラムの参加条件をご覧の上でお申込みください。

CECの銀行口座

三井住友銀行 新大阪支店 普通預金口座 3781412

口座名義 シーイーシージャパンネットワーク株式会社

※振込み手数料はお客様負担でお願いします。

領収書は銀行の振り替え用紙を以って代えさせていただきます。正式な領収書が必要な場合には御連絡ください。すぐに発行いたします。

2) 必要書類の記入

現地のコーディネーターや派遣先に連絡するための必要書類を記入いただき CEC に郵送、またはメール添付ください。

3) 航空券の予約

航空券は CEC の提携する旅行会社がよくインドのことや、私たちのプログラムの事をわかっています。担当者が、どの航空券を利用すれば良いかをアドバイスしてくれます。CEC のインド&ネパールツアーに参加するので、その航空券を手配するようにご依頼ください。その際、ご出発の空港を担当者にお知らせください。

4) ビザ取得

別途費用がかかりますが、提携旅行会社が代行申請することが簡単で確実です。東京にお住まいの方はご自身で申請されることも可能です。実際に参加される時に、ご案内致します。

5) お支払

参加の 3-4 週間前に請求書をお送りいたします。領収書は銀行の振り替え用紙を以って代えさせていただきます。正式な領収書が必要な場合には御連絡ください。すぐに発行いたします。

6) オリエンテーション書類送付

現地の生活に必要な生活情報などをオリエンテーション書類としてお送りします。もし、確認したことがあればお電話やメールでいつでもご連絡ください。

7) ご出発

参加される前には参加条件（WEB で公開しています）をご覧ください。同意してご参加ください。

参加者の方々の感想文

■ 保育園・幼稚園ボランティア

・保育園の子供達はとても素直で可愛らしく、先生や親に厳しく叱られたり誉められたりしながら、のびのびと遊んでいました。最終日にはプレゼントと歌を贈ってくれて、とてもうれしかったです。

・今まで幼稚園で働いたり、幼児教育に携わったことがなかったので、初日はどうなるかと不安もありましたが、日に日に子供達の名前も覚え、一緒に生活していく中で、文化の違いや英語を教えてもらったり、遊びを通してとても楽しい良い経験ができました。また、日本とは違い、様々な人種の子

供達、先生方、ボランティアの方たちと知り合うことができ、文化、習慣の違いを知ることができたので、とても楽しかったです。

・私は日本で2年保育園での経験があったのですが、まず環境の違いにびっくりしました。先生も子供達もとてもものびのびとしていました。先生達は、とても親切な方ばかりなので心配いらないです。積極的にいろいろ聞けば教えてくれます。子供達もとてもかわいいです。先生達の子供への関わり方、遊びの導入、などじっくり見て勉強させてもらいました。日本でも少し反映できたらなと思います。折り紙遊び、日本の玩具、手遊びなどを紹介したのですが、中でもカブトをとっても気に入ってくれました。（幼稚園）

・日に日に子供たちの様子が分かってきて、この子はどんな時にトラブルを起こすのかとか、どの子とどの子が仲がいい、悪いなど色々な事が見えてくるので、先生がどんな風に対応しているのかを見ることが出来ました。NZは他民族であり多種民族なのであるのかどうか、NZの国歌、伝統をよりいっそう意識しているよう感じました。幼稚園でもほとんど毎朝国歌を歌っていました。いいかげんに歌うのではなく、姿勢から気持ちを込めることも子供たちに教えていました。先生たちはとてもいい人たちで、初日から休憩・昼食の時間など必ず声をかけてくれました。

- ・先生も生徒もいろんな国の人が多い。
- ・自由に遊んだりする中でも、基本的なルール（静かにする、きちんと座る、手を洗うなど）を教えていた。
- ・ちょうどコンサート（劇や歌の発表）の時期で、子供たちが一生懸命練習をしていた。マオリのダンスが含まれていて、興味深かったし、とても可愛かった。
- ・一人一人の成長の記録をファイルや掲示板などで親にも分かりやすくしていた。

■ 高齢者サポート

・日本で介護福祉士をしていて、ニュージーランドの介護にとっても興味がありました。仕事内容は特に問題なかったのですが、英語で話すのが難しかったです。でも、英語があまり分からなくても身振り手振りで自分から話しかけていきました。もうちょっと話すことができたなら、もっと細かいところまでは話せたと思います。ニュージーランドの介護を経験することができ、本当によかったです。自分に自信もついたし、視野を広げられたと思います。日本に戻っても介護の仕事をするつもりです。

・3週間のボランティアを終えて、とてもよい経験ができたと思いました。老人ホームにはいろいろなタイプの老人がいて、初日はとても対応に困惑しましたが、徐々に、私がピアノを弾いた時、彼らが歌ったり、踊ったりたくさんの方が笑顔を見せてくれて、たくさん話し掛けてくれるようになりました。また、彼らの60年代、70年代のいろいろな体験談を聞くことができました。働いているスタッ

フの人達もフレンドリーで、優しく、とてもボランティアをしやすい環境でした。日本には Tea Time などないので、スタッフの人が Tea をくれた時はとても驚きました。この3週間で、たくさんのことを学び、日本と NZ の文化の違いも感じました。社会的なことも同時に多く学べてとてもよかったです。Home stay Family、留学センターの人たち、何よりもニュージーランドの人たちの優しさにもとても驚きました。とにかく、この3週間は、私にとって、とても大きいものになりました。

実習に近い本格的な体験をすることができました

【 お名前 】：山本

【 参加しようと思ったきっかけは？ 】：

現在大学3年生で将来英語教諭になることが夢なのですが、来年教育実習に行く前に、実際の海外での教育方法や、現場はどのようになっているのかがなど知っておきたいと思ったからです。

また、保育所、幼稚園のボランティアはたくさんあるなかで、小学校に参加できるボランティアはあまりありませんでした。大人のように話すレベルの高い英語環境の中で過ごしたいと考えていました。

【 参加期間中に楽しかったこと、思い出に残るエピソードなどなんでもお書きください。字数は無制限です。 】：

ボランティア初日は緊張もあり、子どもたちと上手く交流することができませんでした。

しかし日がたつにつれて、子どもたちも挨拶をしてくれたり、一緒におにごっこをしたりして打ち解けることができました。どのような活動をしたかと言うと、机間指導が基本です。時々30分程度日本文化や、日本語のあいさつの紹介や、折り紙を教える時間をとっていただきました。実際いざ子どもたちの前で話すとなると上手く伝わらないことが何度もありましたので、説明するときにわかりやすい英単語をちゃんと確認しておく必要があると痛感しました。

また、折り紙は、男女関係なく興味心身で授業以外の時間でも教えることがありました。

しかし、子どもたちは楽しすぎたのか、先にする勉強より夢中になってしまったり、先生の話や聞かす事を優先しなくなったりすることがたまにありましたので、「後からしようね。」と声をかけ、メリハリをつけふことが必要です。

他にも、担任の先生は1人の子どもに直接指導している間は他の子どもたちの様子を観察し、クラスマネジメントをしたり、注意をすることも求められます。

本来2日ごとにクラスや学年が変わるプログラムだったのですが、私はより日本での実習に近い体験をしたかったのと、子どもたちとの信頼関係を深めながら教育を学んで行きたかったので、学校側に特別に2週間同じクラスでサポートしたいとお願いしたところ、わがままにも関わらず快く承諾していただきました。

このようなご厚意から、私はより実習に近い本格的な体験をすることができました。

毎日が刺激的で思い出はたくさんありましたが、最終日に子どもたちが1人1人メッセージを書いたくれた画用紙や、つくったおりがみをたくさんプレゼントしてくれたことがとて嬉しかったです。このボランティアを通して授業を実践できたことだけでなく、教室の作りや教材の濃さなどニュージーランドの教育について深く知ることができました。また、ホームステイ先でも本当によくしていただきました。英文をスペルチェックしていただいたり、勉強中におやつをだしてくれたり、とても優しいホストファミリーでした。

また、料理はとても美味しく、週末には観光地に連れて行ってくださりました。語学学校は一週間と短かったですが、先生や同じクラスの学生とドライブを楽しみましたし、現地のコーディネーターの方々はスキーを誘ってくださり、ボランティアはもちろん3週間で素晴らしい思い出がたくさんできました。



【 今後参加される方へのアドバイスをお願いします。 】 :

このプログラムは教員を目指している方には本当にオススメです。

しかし、クラスによって異なりますが子どもたちは大人のように喋りますので、会話することが大変なこともあります。

根気強さも必要ですが、子どもたちや、先生方と積極的に関わるのが一番大切です。

また、日本から教材を持っていくことで、実践的に授業をすることができます。

【 そのほか、何かお気づきの点などありましたらご記入ください。アンケートへのご協力ありがとうございます。 】 :

今回このボランティアを通して、教員になりたいと強く再確認することができました。

小学校へのボランティアはめったにありません。ニュージーランドは本当に優しい人が多いですし、自然に溢れた国です。

このような素晴らしいボランティアに参加できたことは私の一生の思い出です。

なかなか経験できないことをたくさんできました

—チャイルドケア・ボランティア体験アンケート—

名前：比良

出身地：大阪

年齢：21 歳 大学 3 回生

滞在期間：2014/03/22～04/05

ボランティア先の名前：Little pepole learning centre

■このプログラムを選んだ理由

ニュージーランドに行ってみたかった、なにかボランティア体験をしたかった、ホームステイができる、自分が経験したいことがプログラムとしてあったからです。

■準備段階での心配事や、不安に思っていたことについて

ホームステイについて…どんな家なんだろうか、お風呂や洗濯の頻度やご飯が合うかなどですが、なにも不自由なく快適でした。

あとは治安です。バスやタクシー、朝・夕に出歩くことも、日本と同じようにできました。

■体験されたボランティア先での業務内容

・モーニングティ、ランチ、アフタヌーンティの準備と片付け（準備：パンやフルーツを切る、エプロンをつけてあげる、手を洗ってあげる）（片付け：手、口をふいてエプロンをはずす）

・ランチ後の子供たちが昼寝中は掃除（はき掃除、モップがけ、机やイスをアルコール消毒など。また毎日ではないけれど、マットの掃除やおもちゃを洗う）

自由に遊んでいる時間は基本的に見守るという感じでした。（頭をぶつけないように、なにかに登らないように、ケンカがおきないように…）

■その業務についての感想

・準備と片付けはエプロンの場所やつけるタイミングが見てわかりましたが、フルーツやパンを切るのはサイズが決まっていたので教えてもらいました。

・掃除についても、どこをどういうふうに掃除するか教えてくれます。口に入れやすい物や舐めやすいものなど、気にかける点がたくさんありました。

・特にしなければいけないことがない自由時間では、おもちゃの取り合いや、なにか起きた子への声かけが難しかったです。先生方のまねをしていました。

■ボランティアで学んだこと

みんなでなにか一緒に作ろう、歌おう、踊ろうなどをするのではないですが、ご飯を食べるとき、遊ぶとき、寝るときのメリハリはありました。

また、もっと欲しいときに Thank you.ta.please を言うことや、なにかいけないことをしたときには恐い顔、よくできたときには笑顔で、しっかり表現することが大切だと思いました。

■ホームステイについて

・すごく早寝早起きでした。22:00~23:00には寝て、4:00~5:00くらいにホストマザーは起きていました。

・食事はすべて1プレートでフォークとナイフでしたが、お箸も置いてくれて嬉しかったです。何度も食器を洗おうとしたのですが、「朝と夜しか洗い物をしないから置いといていいよ」と言われ、夜にしようとしたら「あなたはホリデーで来てるからしなくていい」と言われたので、朝だけは洗うようにしました。

・一人暮らしの方だったので毎日その日あった出来事を話すのが、聞くことと話すことの練習になりました。また、土日の観光プランを一緒に考えてくれたり、バスの乗り方や降りる所も丁寧に教えてもらったので、本当になにも困ることなく、生活も観光もボランティアもすることができました。

■後輩へのアドバイス

・ホームステイ先の家がwi-fiが使えなかったのですが、近所に図書館があり、そのfree wi-fiを利用していました。

・土日に行った14ヶ所、観光で利用した「エクスプローラーバス」はおすすめです。2day passはさらにお得だし、時間とバスをうまく使って移動すれば、オークランドの観光地をほとんどまわることができます。

・朝晩は寒いので長袖が必須でした。が、昼間は天気がすごくいいので、半袖がいいと思いますが日焼け対策もかねて、ロングTシャツを着ていました。なんせ日差しの強さは7倍らしいので…。

■この体験は楽しかったですか？辛いことは？

とても楽しかったです。毎日が充実していて、ずっといたいと本当に思いました。ホストマザーもすごくよくしてくれて、おすすめのお店とかを紹介してくれたり、DVDを借りて一緒に見たりと、いい思い出がたくさんできました。

幼稚園では最初は言われたことしかできていなかったけれど、2週間いてだいぶ慣れてきたところだったのに、子供たちともだいぶコミュニケーションがとれてきたところだったのに…と、もっともっといたいと思いました。

英語のスキルとしては新しい文法を知ったわけではないけれど、単語の使い方や表現のしかた、また、わからない言葉でのコミュニケーションのとりかたなど、なかなか経験できないことをたくさんできました。本当によかったです。

ありがとうございました。

もっと英語を話せるようになったら、また来たい

—チャイルドケア・ボランティア体験アンケート—

名前：Y.F（匿名希望）

■このプログラムを選んだ理由

- ・ホームステイをしてみたかったから。
- ・NZに行ってみたかったから。

■準備段階での心配事や、不安に思っていたことについて

- ・英語が話せないこと（言われていることが理解できないことも含めて）
- ・ホームステイ先で自分がその家族とうまく付き合っていけるか。

■体験されたボランティア先での業務内容

- ・モーニングティ、昼食、アフタヌーンティの準備、食事中の子供たちの世話、片付け
- ・遊び道具の片付け
- ・子供たちと一緒に遊ぶ

■その業務についての感想

2～3歳児の子供たちは、助けてあげられること（口を拭いてあげる、一緒に手を洗うなど）が多くて、言葉を使うけれど作業のほうに集中できました。3～5歳児の子供たちは、ある程度自分でなんでもできてしまうので、行儀や危険な行動（人を殴る、叩く、蹴る、物を投げるなど）を注意したり、言葉で理解してもらうことに重心をおいていたように感じられたので、うまく話せない分難しいと感じました。

作業（業務）自体難しくなく、わからなければ先生方が教えてくださるので、困ったことはありませんでした。

■ボランティアで学んだこと

幼児は数ヶ月の違いでできること、できないことが違ってくるので、その様子を間近で見ることができました。また、遊具も自然をうまく使っているものを取り入れられていて、興味深かったです。先生方は基本、子供たちを自由にさせていましたが、指導は厳しくされていました。そして子供への愛情表現も必ずされていて、子供たちひとりひとりとの関係が成立しているので、指導がうまくいっているのだと思いました。その他、先生たちの立ち振舞に「なるほど」と感心することが多々あり、自分にもっとできることがなかったか考えさせられました。

■ホームステイについて

文化の違いはいくつかみられました。自分が気になるほどではなかったです。私の他に3人ほどホームステイをされている方がいらっしゃったのには驚きました。みなさん英語をうまく話せていて、なかなか話に入れないこともあり。なので、一緒に話すというよりは、聞きとれる部分で理解（どんな話を）するのに必死でした。もっと英語を勉強したいなと思いました。ホームステイされる方々や家族の方々は優しく、本当によくしてくださいました。お孫さんがよくお家に来ていたので、一緒に遊んだり、羊を触らせてに牧場まで連れて行ってくださいました。はじめの一週間は少し長く感じましたが、二週目は本当にあっという間でした。楽しかったです。

■後輩へのアドバイス

幼稚園のボランティアをするならば、英語の童謡（例えばきらきら星など）が歌えると、一緒に歌えたり、子供の注意を向けたいときや、泣いている子供をあやすときに使えると思います。

■この体験は楽しかったですか？辛いことは？

楽しかったです。そして充実していました。途中、しんどく思ったり忙しく思うこともありましたが、辛いと思うほどではなかったです。友達ときていたのですが、簡単に会える距離ではなく、Wi-fiもうまく使えなかったので、不安もありました。けれど、ホームステイの方が住んでいる人（地域に）が私のつたない英語も聞きとろうとしてくれて、とても優しくしてくれたので、二週間あっという間に過ぎました。もっと英語を話せるようになったら、また来たいと思います！

資料請求は CEC の WEB から行えます。もし、入力することが難しい場合には、お電話、またはメールでご依頼ください。

その他のお問い合わせもお気軽にご連絡ください。

CEC ジャパンネットワーク(株)

532-0003 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel 06-6397-7030 メールアドレス： info@cecj.net



<http://www.cecj.net/>